

令和5年度学校自己評価システムシート (県立大宮光陵高等学校)

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に着け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 確かな学力の向上と自立する力の育成に向け、学習意欲を高める授業を展開し、生徒一人一人の進路希望実現を支援する。 2 グローバルな視野を養う機会を推進し、豊かな人間性と創造性を育み、様々な角度から物事を考え自ら率先して行動できる人材を育成する。 3 多様で特色ある本校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者		
学校関係者		名
生徒		名
事務局(教職員)		名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>(現状) 授業アンケートではある程度の満足度は示されていた。満足度だけでなく、明確な目標をもって学習させ更に学校全体の学力を向上させる必要がある。また、進路情報提供や相談体制に対する満足度は漸増傾向であった。生徒がより主体的に進路について考え、将来を見据えた選択ができるようにすることが望まれる。</p> <p>(課題) 目標及び評価の規準を明示して、生徒が目標に向け意欲的に学習できるようにし、個々の学力を向上させる。また、生徒が将来を見据え、上位校への挑戦を意識した進路選択をし、希望を実現できるような進路指導体制や環境を整え、ICTの効果的な活用を推進していく。</p>	<p>各教科・科目の目標に即した授業の方法、評価規準を引き続き、明確にし、学校全体で共有する。</p> <p>生徒に将来を見据えた進路選択をさせ、進路実現できるような進路情報を提供し、実力を養成する環境を整える。</p>	<p>①目標に即した評価基準を示して評価し、生徒の学習意欲を伸長させ、学力向上につなげる。</p> <p>②進路行事を一層充実させ、必要な進路情報を生徒、保護者に適切に提供する。</p> <p>③本校での進学補講の充実、外部機関と学習支援での連携を図り、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。</p>	<p>①授業アンケートでの授業満足度が向上したか。</p> <p>①成績優良者が増え、欠点保有者が減ったか。</p> <p>②学校評価アンケートにおいて、進路情報の提供や相談等での満足度が向上したか。</p> <p>②大学入学共通テストの受験者数や一般受験の受験者数が増加したか。</p> <p>③生徒の進路希望に則した進学補講や学習支援を実施できたか。</p> <p>③生徒個々が今年度導入した外部機関の学習支援を活用したか。</p> <p>③生徒の進路希望が実現できたか。</p>			次年度への課題と改善策
2	<p>(現状) 高いレベルの芸術活動や国際交流、外国語コースの取組などを特色とし、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が行われている。</p> <p>(課題) 4学科1コースの特色を生かし、相互の情報共有や交流を深めると共に、3年以上実施できていなかった海外短期研修等を再開させ、グローバルな視点の育成に努める。また、学校としての一体感を持てるよう、そしてさらに生徒が充実感を得られるような行事の実施や環境を整える。</p>	<p>大宮光陵高校としての一体感を醸成し、様々な教育活動をとらして学校生活に充実感を持たせ、個々の生徒の学びの意欲を高める。</p>	<p>①各部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報を共有し、組織的に生徒の意欲を高める。</p> <p>②生徒が主体的に諸行事を運営する体制を整える。</p> <p>③学科・コースの特色を生かした国際交流事業を再開する。</p>	<p>①部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報提供が適切に行われ、各種大会やコンクールで優秀な成績を修めることができたか。</p> <p>②生徒主体に諸行事が運営できると共に満足できたか。</p> <p>③事前、事後指導を含めた国際交流事業を実施し、その成果を全校生徒で共有できたか。</p>			
3	<p>(現状) 学校からの情報提供については一定の評価・信頼は得られているが、コロナ対策もあり、地域との交流については実施できていない行事もある。</p> <p>(課題) 本校の教育活動の実践とその成果を積極的に発信し、家庭・地域と情報共有しながら更なる信頼を得ると共に、停滞している地域交流の再開を積極的に行う必要がある。</p>	<p>HPやメール、ICTを活用して確実な情報を提供するとともに、説明会や交流事業などで本校の特色ある教育活動の情報を発信する。</p>	<p>①本校生徒とその保護者に、行事等の情報を適時的に発信する。</p> <p>②芸術三科を中心に数多くある地域イベントやメディアからの依頼に対し、その内容や効果を吟味し、積極的に協力し本校生徒の魅力を発信する。</p> <p>③本校の特色を情報発信すると共に主体的に地域との交流事業を再開する。</p> <p>④全県の中学生や保護者、中学校等の関係者に本校の情報を適時に提供する。</p>	<p>①情報提供に対する保護者の満足度が向上したか。また、HPへのアクセス数は増加したか。</p> <p>②地域や各種メディアからの依頼に随時対応し本校の教育活動や生徒の魅力を広められたか。</p> <p>③地域との交流事業を実施し、関係者の満足度を高められたか。</p> <p>④説明会等の参加者数、本校志願者数は増加したか。</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	